2026年９月期　決算説明

株式会社　丸山製作所

代表取締役社長　内山剛治



目次

1．2026年9月期 業績概要 P. 2

2．2027年9月期 業績予想 P.12

3．第8次中期経営計画 P.19

4．参考資料 P.27
会社概要 財務諸表 等



1 2026年9月期　業績概要
【2025年10月1日～2026年9月30日】

2 2027年9月期　業績予想
【2026年10月1日～2027年9月30日】

3 第8次中期経営計画
【2023年9月期～2027年9月期】

4 参考資料
会社概要 財務諸表 等

2026年9月期　業績概要

単位：百万円	2025年9月期 実績			2026年9月期 通期予想	2026年9月期 実績			
	金額	売上高比率		金額	金額	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	売上高比率
売上高	41,266	－		42,000	**43,398**	**2,131**	**5.2%**	－
営業利益	1,080	2.6%		1,500	**1,520**	**440**	**40.8%**	**3.5%**
経常利益	1,173	2.8%		1,500	**1,554**	**381**	**32.5%**	**3.6%**
当期純利益	743	1.8%		900	**4,312**	**3,568**	**480.2%**	**9.9%**
為替レート　米ドル	149円			145円	**158円**			
為替レート　ユーロ	165円			160円	**183円**			

経済

・雇用・所得環境の改善により個人消費の持ち直しが継続、設備投資も底堅く推移し、景気は緩やかな回復基調
・世界的なインフレや海外経済の減速、資源・エネルギー価格変動、地政学的リスクによる先行き不透明な状況の継続

変動要因

【日本】　・大型防除機の増加　・動力噴霧機の増加
【海外】　・北米向け及び欧州向け工業ポンプの増加　・欧州向け刈払機の減少
【当期純利益】　OEM契約改定に伴う一時金の特別利益への計上が当期純利益に大きな影響を与える

農林業用機械

- 動力噴霧機
- 動力散布機
- 大型防除機
- 刈払機
- チェンソー
- その他





工業用機械





- 工業用高圧ポンプ
- 高圧洗浄機
- ウルトラファインバブル製品

MARUYAMA

その他の機械

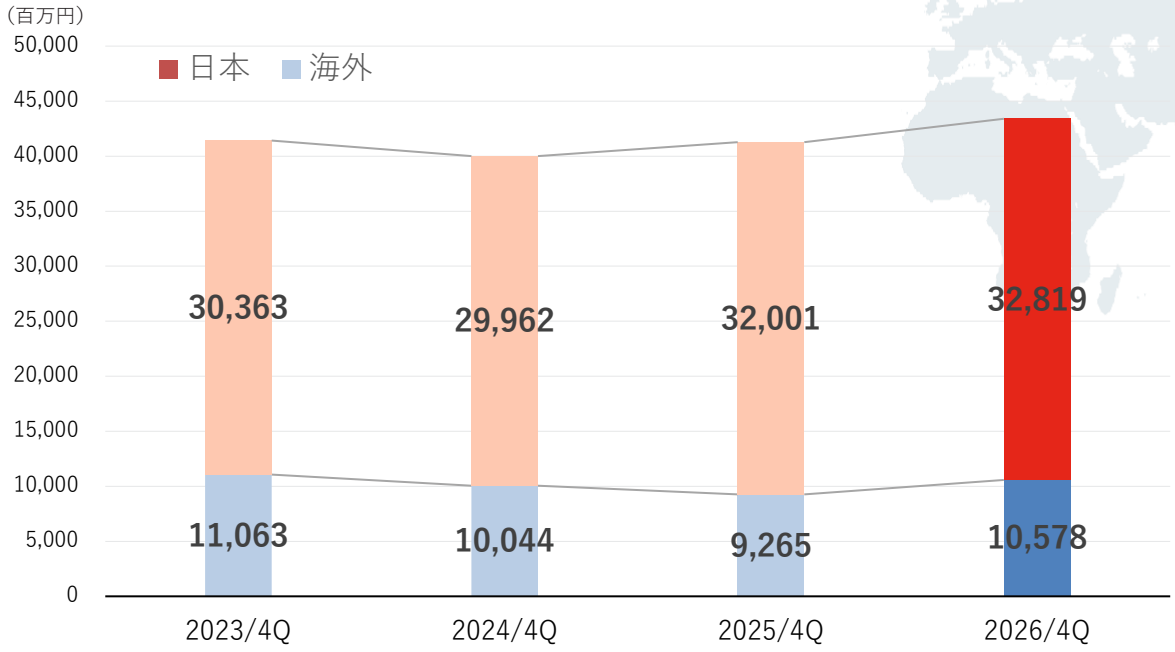
- 消火器
- 防災関連機器
- 環境衛生用機械
- その他

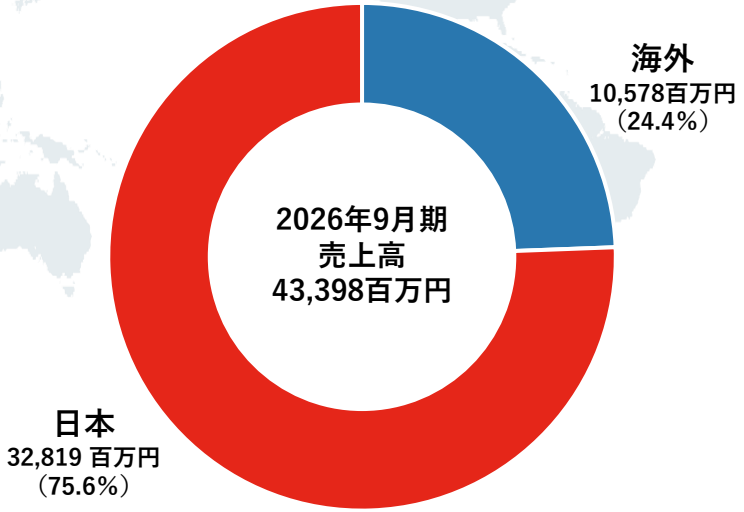


不動産賃貸他

- 不動産賃貸
- 売電事業

海外の売上高の状況

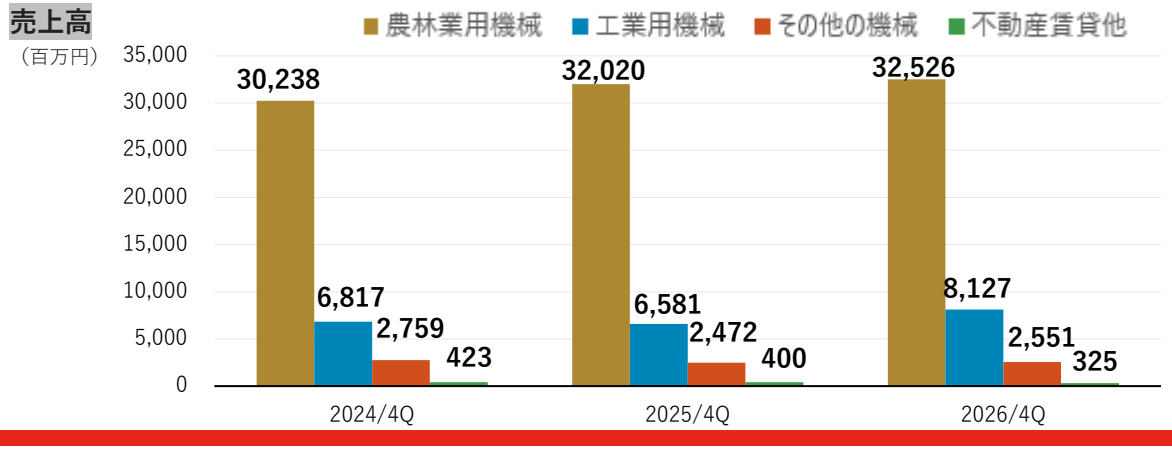


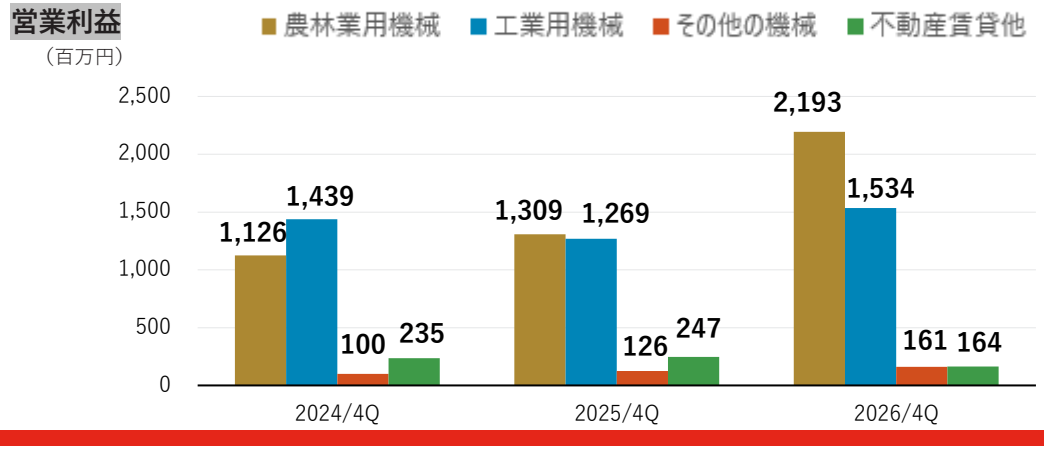


単位：百万円	2025年9月期　実績		2026年9月期　実績			
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	売上高構成比
海外	9,265	22.5%	**10,578**	**1,312**	**14.2%**	**24.4%**
日本	32,001	77.5%	**32,819**	**818**	**2.6%**	**75.6%**

セグメント別　業績概要

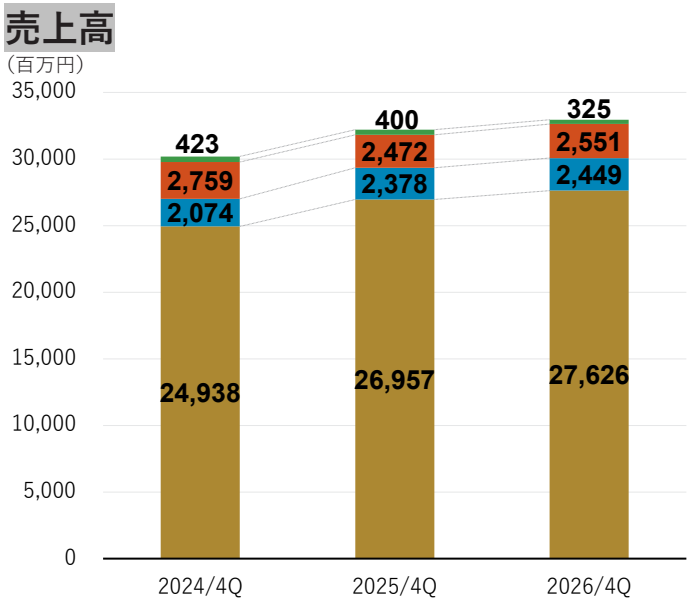
単位：百万円	2025年9月期　実績			2026年9月期　実績							
	売上高	売上高構成比	営業利益	売上高	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	売上高構成比	営業利益	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	営業利益構成比
農林業用機械	32,020	77.2%	1,309	32,526	+506	+1.6%	74.7%	2,193	+883	+67.4%	54.1%
工業用機械	6,581	15.9%	1,269	8,127	+1,546	+23.5%	18.7%	1,534	+264	+20.8%	37.8%
その他の機械	2,472	6.0%	126	2,551	+78	+3.2%	5.9%	161	+35	+27.9%	4.0%
不動産賃貸他	400	0.9%	247	325	▲75	▲18.9%	0.7%	164	▲83	▲33.5%	4.1%
調整額（セグメント間取引）	▲208	－	▲1,873	▲133	+74	―	―	▲2,532	▲659	―	―
合計（うち海外）	41,266 (9,265)	100.0% (22.5%)	1,080	43,398 (10,578)	+2,131 (+1,312)	5.2% (+14.2%)	100.0% (24.4%)	1,520	440	+40.8%	100.0%

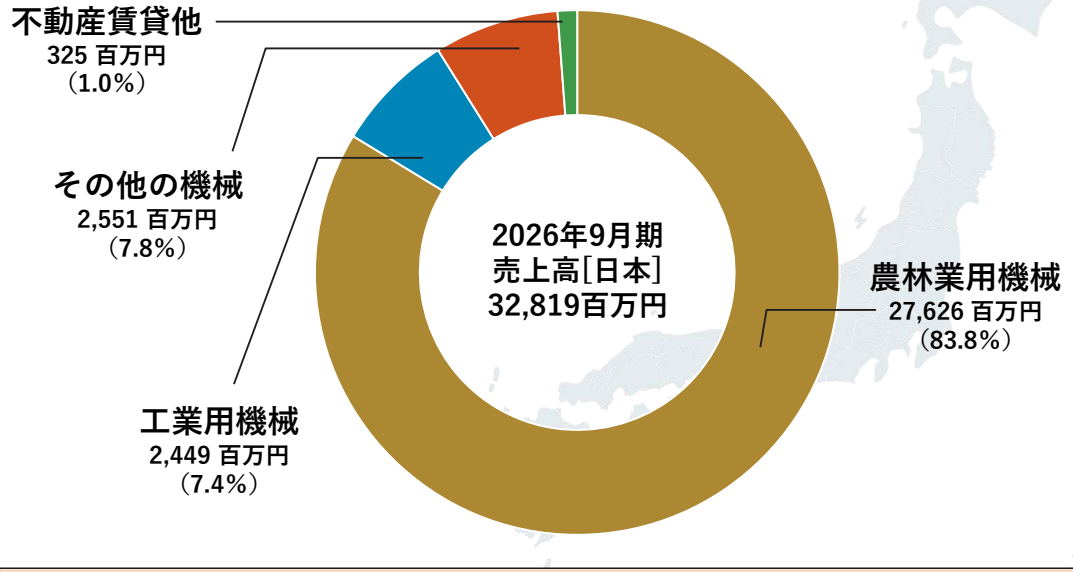




セグメント別　売上高 [日本]

農林業用機械：大型防除機の増加、動力噴霧機の増加





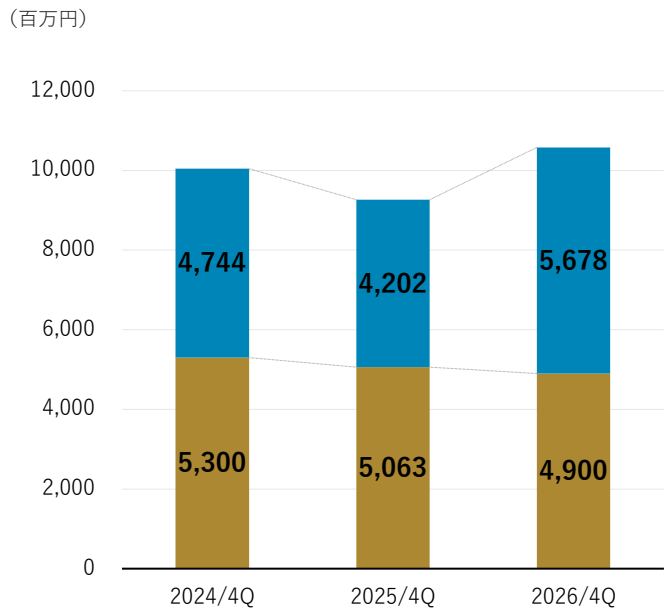
単位：百万円	2025年9月期　実績		2026年9月期　実績			
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	売上高構成比
農林業用機械	26,957	83.7%	27,626	+669	+2.5%	83.8%
工業用機械	2,378	7.4%	2,449	+71	+3.0%	7.4%
その他の機械	2,472	7.7%	2,551	+79	+3.2%	7.8%
不動産賃貸他	400	1.2%	325	▲75	▲18.8%	1.0%

※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

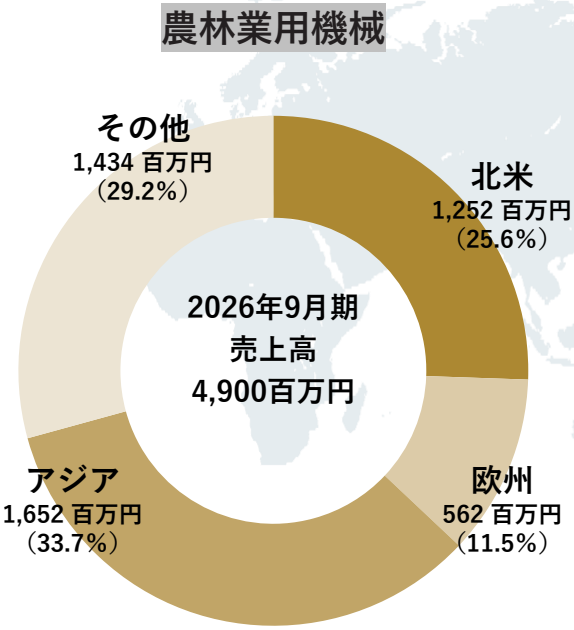
セグメント別　売上高［海外］

農林業用機械：欧州向けの刈払機の減少
工業用機械　：欧州向け及び北米向けのポンプの増加

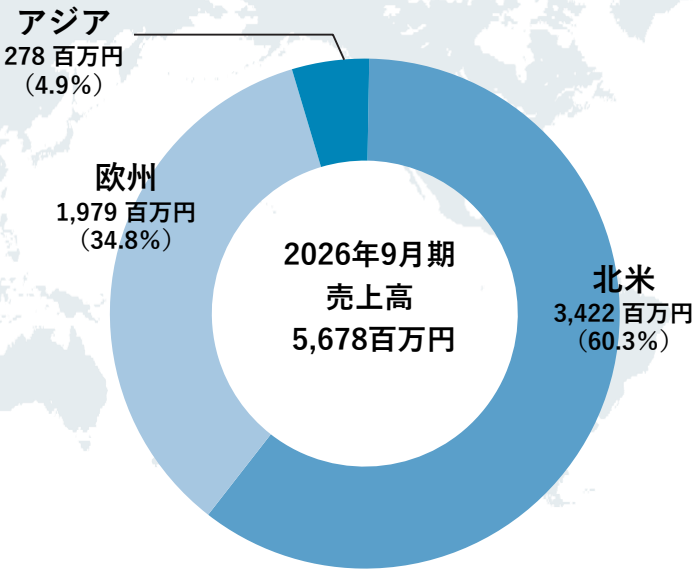
売上高



農林業用機械



工業用機械

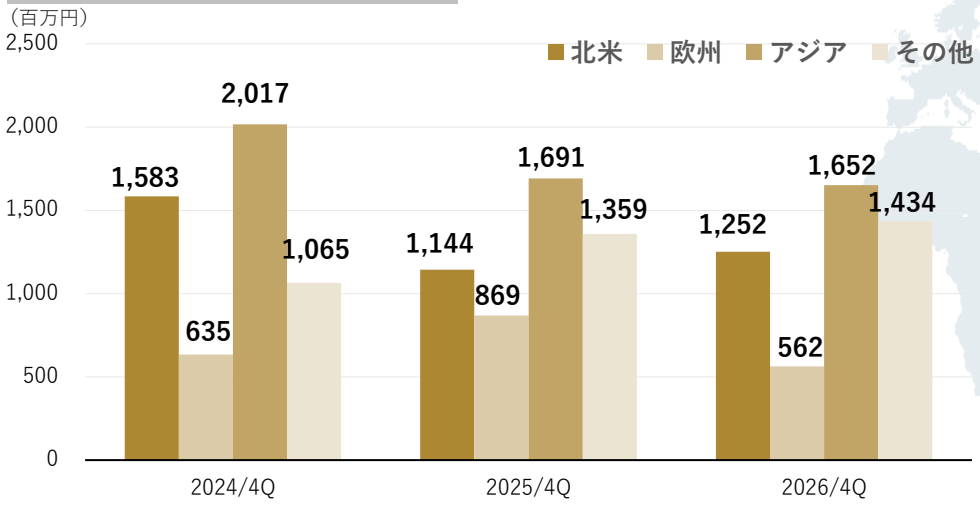


単位：百万円	2025年9月期　実績		2026年9月期　実績			
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	売上高構成比
農林業用機械	5,063	54.6%	4,900	▲162	▲3.2%	46.3%
工業用機械	4,202	45.4%	5,678	+1,476	+35.1%	53.7%

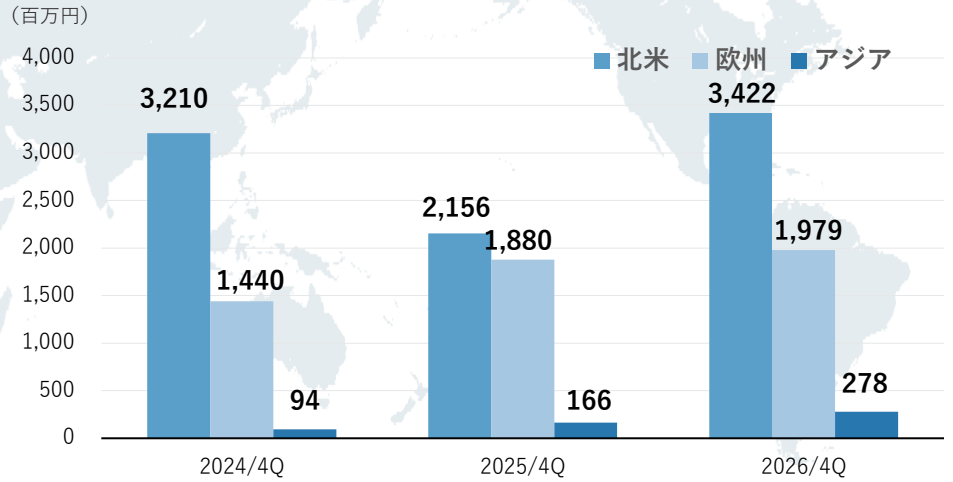
※セグメント別売上高はセグメント間取引を含んでおります。

セグメント別　売上高 [海外地域別]

売上高 [農林業用機械　地域別]

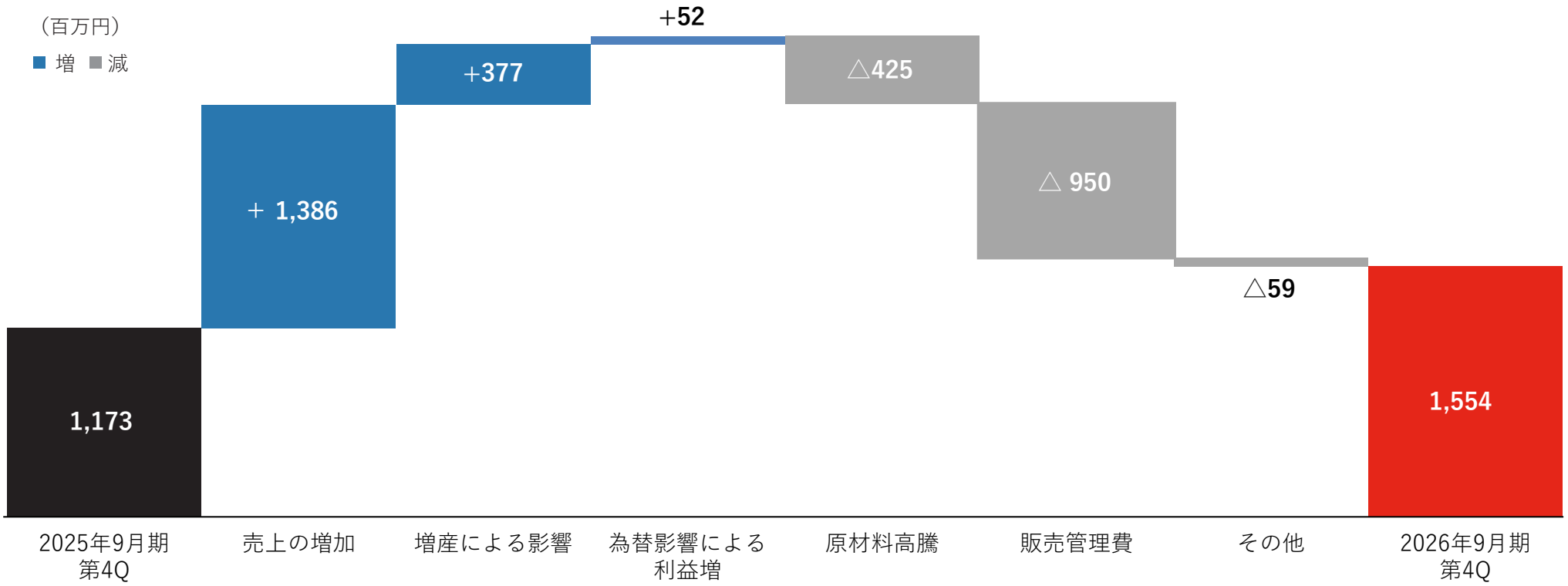


売上高 [工業用機械　地域別]



単位：百万円	2025年9月期　実績		2026年9月期　実績			
	売上高	売上高構成比	売上高	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	売上高構成比
農林業用機械	5,063	54.6%	4,900	▲162	▲3.2%	46.3%
北米	1,144	12.3%	1,252	+108	+9.4%	11.8%
欧州	869	9.4%	562	▲307	▲35.3%	5.3%
アジア	1,691	18.2%	1,652	▲39	▲2.3%	15.6%
その他	1,359	14.7%	1,434	+75	+5.5%	13.6%
工業用機械	4,202	45.4%	5,678	+1,476	+35.1%	53.7%
北米	2,156	23.3%	3,422	+1,266	+58.7%	32.3%
欧州	1,880	20.3%	1,979	+99	+5.3%	18.7%
アジア	166	1.8%	278	+112	+67.4%	2.6%

2026年9月期　増減益要因分析［経常利益］



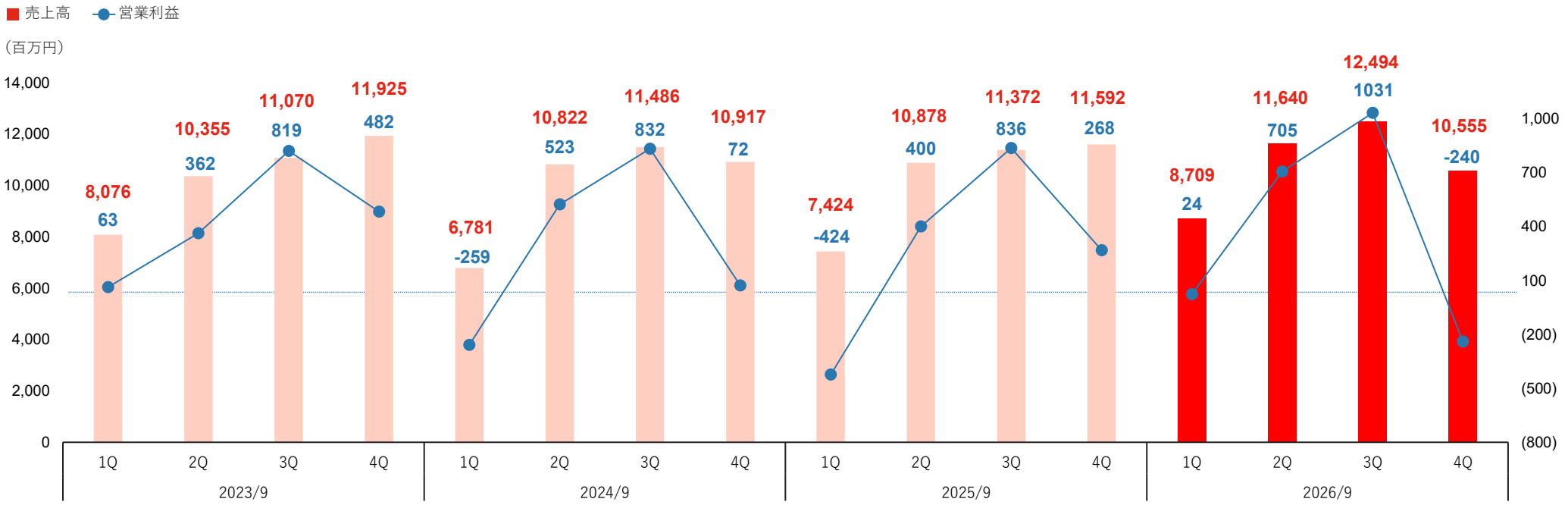
【＋】　売上の増加（＋1,386）、増産による影響（+377） が主な要因

【－】　原材料高騰等の影響（△425）販売管理費の増加（△950）が主な要因

売上高・営業利益の推移［四半期ベース］

売上高は　43,398 百万円（前年同期比　5.2%増）
営業利益は 1,520 百万円（前年同期比　40.8%増）

※国内の農業用機械の需要期が３月から７月であるため、売上・利益ともに第１四半期は他の期に比べ少ない傾向にあります。





1 2026年9月期 業績概要

【2025年10月1日～2026年9月30日】

2 2027年9月期　業績予想

【2026年10月1日～2027年9月30日】

3 第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4 参考資料

会社概要 財務諸表 等

2027年9月期　業績予想

単位：百万円	2026年9月期 実績		2027年9月期 通期予想				2027年9月期 第2四半期予想	
	金額	売上高比率	金額	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	売上高比率	金額	前年同期比 増減率
売上高	43,398	－	44,000	+602	+1.4%	－	21,000	+3.2%
営業利益	1,520	3.5%	2,200	+680	+44.7%	5.0%	800	+9.7%
経常利益	1,554	3.6%	2,100	+546	+35.1%	4.8%	700	▲8.0%
当期純利益	4,312	9.9%	1,350	▲2,962	▲68.7%	3.1%	450	+5.2%
為替レート　米ドル	158円		163円					
為替レート　ユーロ	183円		185円					

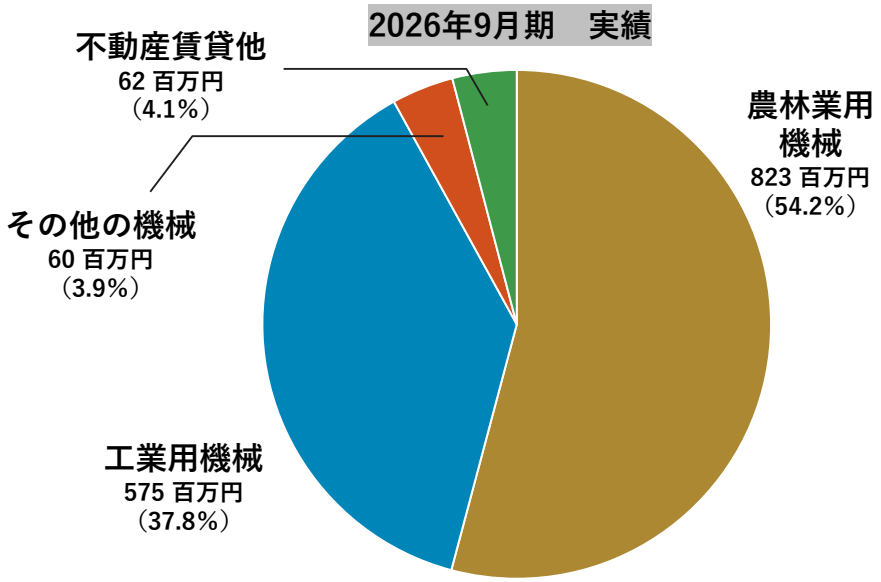
【当期純利益】2026年9月期においてOEM契約改定に伴う一時金の特別利益への計上が純利益に大きな影響を与えたため、2027年9月期当期純利益については当該一時金の影響を除いた通常の利益水準を見込んでいます。

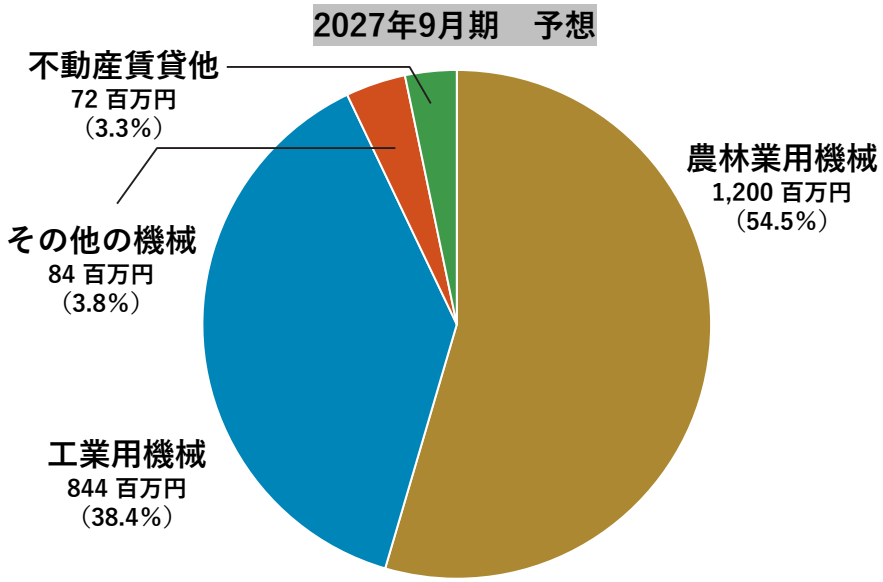
当社グループは業績目標の達成に向け、収益力の向上、事業基盤の強化及び成長分野への投資を着実に進めてまいります。

2027年9月期　セグメント別業績予想

単位：百万円	2026年9月期　実績			2027年9月期　予想							
	売上高	売上高構成比	営業利益	売上高	売上高増減額	売上高増減率	売上高構成比	営業利益	営業利益増減額	営業利益増減率	営業利益構成比
農林業用機械	32,526	74.7%	2,193	33,000	+473	+1.5%	74.8%	2,470	+277	+12.6%	54.5%
工業用機械	8,127	18.7%	1,534	8,300	+172	+2.1%	18.8%	1,740	+206	+13.4%	38.4%
その他の機械	2,551	5.9%	161	2,500	▲52	▲2.0%	5.7%	170	+9	+5.6%	3.8%
不動産賃貸他	325	0.7%	164	300	▲25	▲7.7%	0.7%	150	▲15	▲9.1%	3.3%
調整額（セグメント間取引）	▲134	—	▲2,532	▲100	+34	—	—	▲2,330	+203	—	—
合計	43,398	100.0%	1,520	44,000	+602	+1.4%	100.0%	2,200	+680	+44.7%	100.0%

セグメント別　営業利益予想





単位：百万円	2026年9月期　実績		2027年9月期　予想			
	営業利益	営業利益 構成比	営業利益	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率	営業利益 構成比
農林業用機械	823	54.2%	1,200	+377	+45.8%	54.5%
工業用機械	575	37.8%	844	+269	+46.8%	38.4%
その他の機械	60	3.9%	84	+24	+40.0%	3.8%
不動産賃貸他	62	4.1%	72	+10	+16.1%	3.3%

対処すべき課題

第8次中期経営計画の最終年度となる2027年9月期は、以下の6項目を重点課題として取り組みます。

重点項目		取組み内容
①	品質を軸とした競争力強化	営業・管理・製造・品質・技術の5本部体制による業務品質の向上
		部門横断による製品・サービスの品質向上
		ステークホルダーからの信頼向上と企業価値の向上
②	収益力向上 事業基盤の強化	事業ごとの営業・工場一体運営による管理体制強化及び収益性向上
		QCD（品質・コスト・納期）の徹底
		海外調達、内製化及びデジタル技術の活用によるトータルコストダウン
		在庫管理の一元化と物流の合理化による事業効率の向上
③	成長市場への展開 研究開発力の強化	環境対応型スマート農業、電動・ハイブリット製品等の高付加価値製品の開発・市場投入
		工業用機械分野のアフターサービス拡大及びECビジネスの拡大
		R&Dセンターの稼働と開発部門の集約による研究開発体制の強化
		開発力の向上による競争力強化と新製品・新技術の創出

対処すべき課題

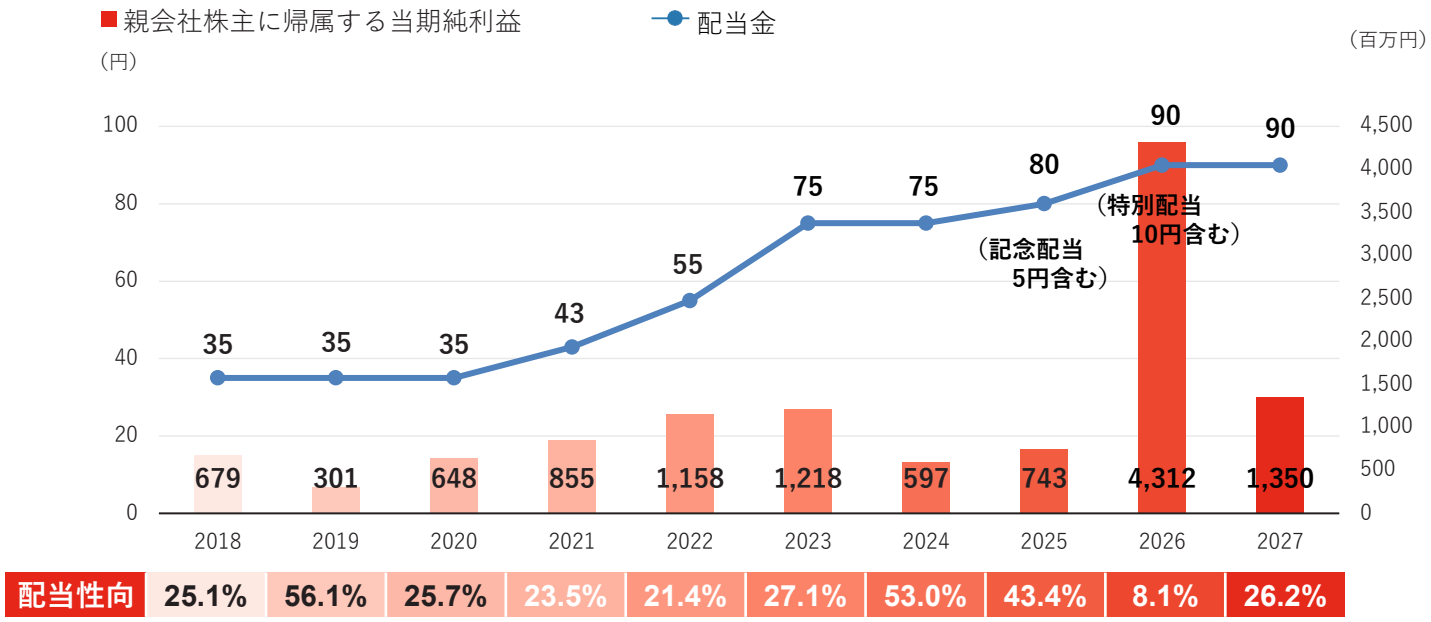
第8次中期経営計画の最終年度となる2027年9月期は、以下の6項目を重点課題として取り組みます。

重点項目		取組み内容
④	海外市場の成長 グローバル競争力の強化	各地域における販売拡大と海外子会社の収益力向上
		成長性と収益性を見極めた戦略的投資の実施
		日本、アメリカ、タイ、インド及びベトナムの各拠点の役割明確化
		海外拠点間の連携によるグローバル生産・販売体制の強化
⑤	法令遵守、ガバナンス リスク管理の強化	法令遵守の徹底と国内外グループ会社を含むガバナンス体制の強化
		5本部体制における責任・権限の明確化と部門間連携の推進
		自然災害、サイバーセキュリティ、安定供給等への対応力強化
⑥	人的資本 デジタル分野への投資	国内外における人材の確保・育成と組織基盤の強化
		社員教育の充実とデジタル人材の育成
		AIを活用した知識共有・業務効率化による業務品質と生産性の向上
		創出利益の人材・技術・デジタル分野への再投資による成長の好循環構築

株主還元

当社は、株主の皆様に対する利益還元を重要な経営課題と位置づけ、将来の事業展開に必要な内部留保・各種投資、業績見込みを勘案したうえで、配当性向30%程度を目安としつつ株主資本配当率（DOE）などの各種指標を加味し、安定的な配当を継続することを基本方針としております。また、健全な経営の維持と将来の経営環境への対応を勘案しながら、株主還元を更に充実させていくことは重要と捉え、今後、配当性向の向上、自己株式の取得、株主優待の充実に取り組み、長期安定的な配当水準の向上に積極的に努めてまいります。

この基本方針に基づき、当期の期末配当金につきましては、1株につき80円の普通配当に、OEM契約改定に伴う一時金（当該一時金）の受領を踏まえた特別配当10円を加え、1株につき90円とさせていただきます。なお、来期の配当予想額につきましては、１株につき90円といたします。



配当性向	特別利益含む 配当金90円	(ご参考)当該一時金除く 配当金80円の場合
配当金のみ	8.1%	29.8%
株主優待を含めた配当性向	8.8%	32.5%

総還元性向	特別利益含む 配当金90円	(ご参考)当該一時金除く 配当金80円の場合
配当金額	353 百万円	314 百万円
自己株式取得総額	327 百万円	327 百万円
合 計	680 百万円	641 百万円
総還元性向	15.8%	61.2%

（株主優待を含めた場合 16.4%(特別利益含む)(配当金90円)
63.7%(当該一時金除く)
(配当金80円の場合)）



1 2026年9月期 業績概要

【2025年10 月1日～2026年9月30日】

2 2027年9月期　業績予想

【2026年10月1日～2027年9月30日】

3 **第8次中期経営計画**

【2023年9月期～2027年9月期】

4 参考資料

会社概要 財務諸表 等

2030年　長期経営ビジョン

社会の課題

- 調達難 ・ 材料高騰
- 世界的食糧難 ・ 水不足
- ウイルス対策
- 人材 ・ 労働力不足
- 環境問題
- 国際政治 ・ 経済問題

2030年　長期経営ビジョン

■ SDGsに繋がるESG経営の強化
■ 社会貢献型企業として成長市場に進出

目標

■ 食・水・環境分野の社会課題解決
■ CO2排出量　50%削減
■ 女性管理職　7名

成長市場

【食・農業・畜産市場】
農薬の適量散布：大型防除機 ・ ドローン ・ ウルトラファインバブル製品による課題解決
養殖 ・ 育苗：ウルトラファインバブル製品の投入

【環境市場】
消臭・節水・RO処理(水処理)・ミスト・気液混合・ウルトラファインバブルなどのポンプ技術による社会的課題の解決
環境ニーズ ・ リサイクルニーズへの対応

第8次中期経営計画（2023年9月期～2027年9月期）

◆ 中期経営計画コンセプト：「成長事業の創出」

ESG経営の強化

攻めのESG

食・水・環境市場
社会貢献

守りのESG

持続可能な体制づくり
リスク管理・投資・ガバナンス強化



第8次中期経営計画（2023年9月期～2027年9月期）

- MUFB技術の更なる進化とスマート農業化の促進
- 既存技術の進化
- 品質対策と製品安全の体制強化



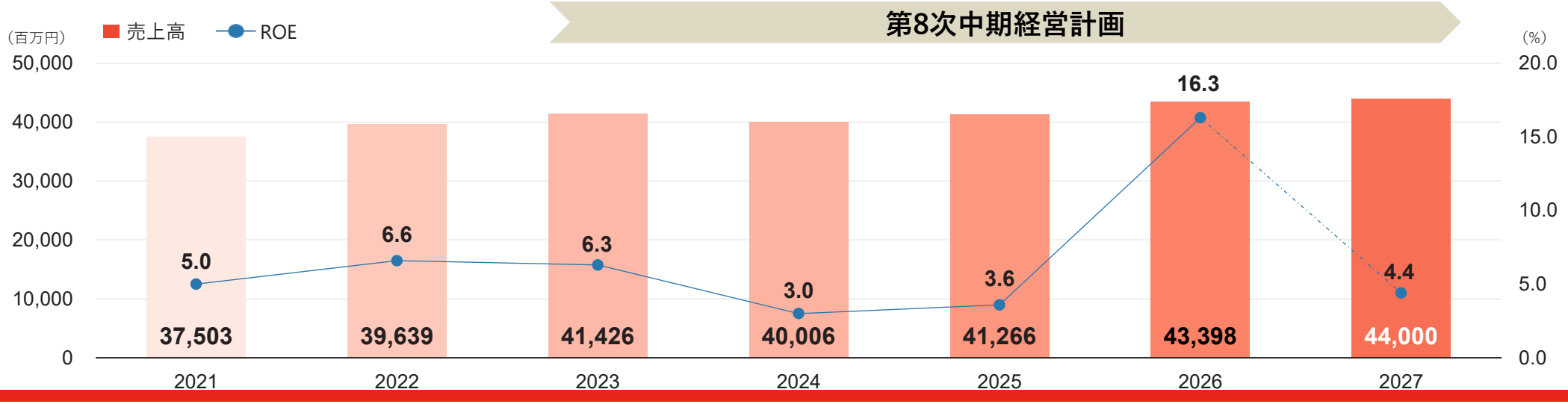
- 国内の新市場開拓・既存市場の成長
- アジア市場へのリソース拡大
- 海外売上比率35％を目指す
- アフターマーケット強化

- ブランド力強化・ガバナンス強化
- 働き方改革・労働安全確保・従業員満足度向上
- 収益力向上・財務体質強化
- 丸山流DXを通じたイノベーティブな組織風土創造

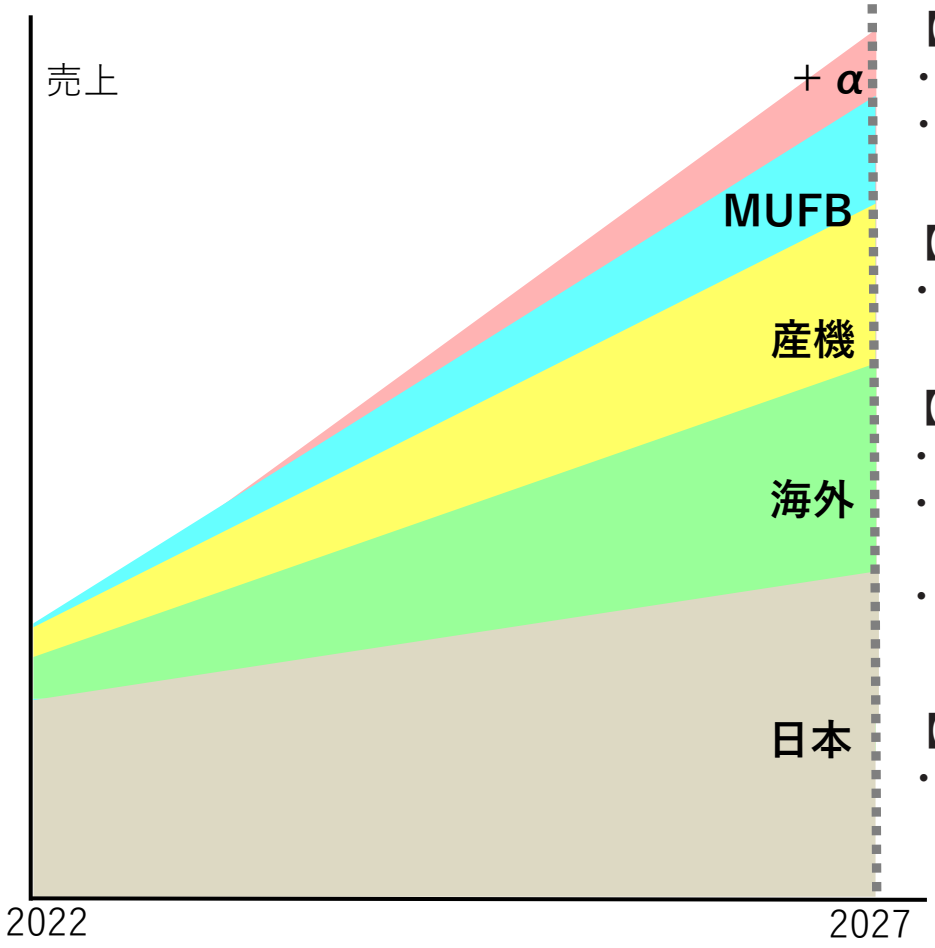
第8次中期経営計画の目標修正

2027年９月期は、第８次中期経営計画の最終年度に当たり、当社グループは同計画において、業績目標を連結売上高48,000百万円、連結営業利益2,800百万円、ROE7.5％と掲げておりました。しかしながら、計画策定時からの国内外の事業環境の変化、原材料価格、人件費及び物流費等の上昇並びに各施策の進捗状況等を踏まえ、最終年度の業績目標を見直すこととといたしました。
見直し後の業績目標は、連結売上高44,000百万円、連結営業利益2,200百万円、ROE4.4％といたします。

単位：百万円	2026年9月期 実績	2027年9月期 第8次中期経営計画目標	2027年9月期 第8次中期経営計画目標修正
売上高	43,398	48,000	**44,000**
営業利益	1,520	2,800	**2,200**
ROE	16.3%	7.5%	**4.4%**



第8次中期経営計画　事業成長イメージ



【MUFB市場 ・ ＋α】
・ ウルトラファインバブル製品を海外市場を含め新規の流通へ展開
・ 市場ニーズへスピード感を持った対応を行うため、自社開発の他、協業による新規市場参入や製品開発を目指す

【産業用機械市場】
・新用途向けのポンプ製品開発を進め、国内外ともに更なる事業拡大を図る

【海外市場】
・ アジア圏の農業機械市場に対して日本国内成功モデルを拡販する
・ タイ現地生産法人による製品開発・生産を積極的に展開、更なる進出を図る
・ 海外人材を活用し、より細かな市場開拓、マーケティングによる拡販を図る

【日本市場】
・ スマート農業機器、IoT・センサー技術製品の開発、新環境型エンジン搭載製品の開発、バッテリ製品ラインナップの拡充により市場ニーズへ対応

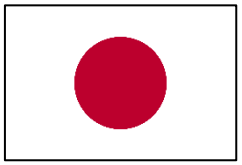
成長事業の創出：海外事業の成長

インド

現地サプライヤーとの調整を進めるとともに、自社工場の建設計画を推進しています。 大型防除機を中心とした生産体制を整備し、インド国内に加え、グローバル市場への供給拠点として事業基盤を構築してまいります。

ベトナム

部品製造・ポンプ組立を担う新会社を設立し、新工場の建設準備を進めています。 グループの内製化およびコストダウンを担う拠点として、各生産拠点への部品供給を進めるとともに、ベトナム国内の販売網を拡充してまいります。



タイ

新製品の投入と販売網の強化により、タイ国内での販売が堅調に推移しました。 引き続き、生産の自動化・省人化と現地調達を推進し、小型エンジン・刈払機のグローバル生産拠点として競争力を高めるとともに、周辺国への展開を強化してまいります。

北米・中南米

北米では、工業用ポンプの販売拡大に加え、カリフォルニア州における大型防除機の市場開拓と販売網の整備を進めました。
中南米では、コロンビア現地法人を中心に販売活動を本格化し、コロンビア国内及び周辺国への販路拡大とMARUYAMAブランドの浸透を図ります。

成長事業の創出：MUFB技術の実用化と市場拡大

農業





・野菜のハリ、ツヤが良くなった
・果物の収穫量、甘さも増した
・減肥栽培に有益性が発揮された

水産業





・鮮度が長く保たれるように
なった
・畜養での死滅率が減った

食品産業





・食器洗いなどの水使用量が
大幅に削減された
・出汁の抽出力が高まり、
出汁感がUP！

MUFB

1μm未満の微細な泡

水から瞬時に生成
ワンパスで連続生成

■微細な隙間への
浸透・吸着
■水中で長時間残存

家庭





・髪や肌がうるおった
・節水しながら洗い物ができる
・排水溝のニオイがなくなった

洗浄





・トイレの尿石が取れた
・臭いが減った
・除塩、除油作業の効率が
良くなった

工業



・洗浄力の向上により洗剤の量
が減った
・金属加工で使う切削液が長持
ちした

ファインバブル活用事例集を基に当社作成：https://k-rip.gr.jp/wp/wp-content/uploads/2018/03/finebubble_ver4.pdf



1 2026年9月期 業績概要

【2025年10月1日～2026年9月30日】

2 2027年9月期　業績予想

【2026年10月1日～2027年9月30日】

3 第8次中期経営計画

【2023年9月期～2027年9月期】

4 参考資料

会社概要 財務諸表 等

貸借対照表

単位：百万円	2025年9月期　期末		2026年9月期　期末		増減額	主要因
	金額	構成比	金額	構成比		
総資産	39,101	100.0%	**49,624**	**100.0%**	**+10,522**	
流動資産	22,700	58.1%	**29,336**	**59.1%**	**+6,636**	有価証券の増加、商品及び製品の増加
固定資産	16,401	41.9%	**20,287**	**40.9%**	**+3,885**	時価の上昇による投資有価証券の増加
流動負債	15,070	38.5%	**14,969**	**30.2%**	**▲100**	
固定負債	3,237	8.3%	**8,186**	**16.5%**	**+4,948**	長期借入金の増加 繰延税金負債の増加
純資産	20,794	53.2%	**26,468**	**53.3%**	**+5,674**	利益剰余金の増加 時価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加

	2025年9月期　期末	2026年9月期　期末
自己資本比率	52.7%	**52.8%**
流動比率	150.6%	**196.0%**

キャッシュフロー計算書

単位：百万円	2025年9月期 期末	2026年9月期 期末	増減額	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	1,871	**1,715**	**▲155**	棚卸資産の増加
投資活動によるキャッシュフロー	▲1,974	**▲1,752**	**+221**	有形固定資産の取得
フリーキャッシュフロー	▲103	**▲37**	**+66**	
財務活動によるキャッシュフロー	▲836	**4,452**	**+5,289**	長期借入金の増加
現金及び現金同等物期末残高	3,490	**8,000**	**+4,510**	

会社概要

社　　名	株式会社丸山製作所
代　表　者	代表取締役社長　内山 剛治
本　　社	〒101-0047　東京都千代田区内神田３丁目４番１５号
創業・設立	【創業】 1895 年　　【設立】 1937 年 11 月
資　本　金	46 億 51 百万円
売　上　高	433 億 98 百万円 （2026 年 9 月期）
事業年度	毎年 10 月 1 日から翌年 9 月 30 日まで
上　　場	東京証券取引所　　スタンダード
従業員数	【単体】 613名【連結】 1,012 名（2026年9月30日現在）
証券コード	6316
事業内容	農林業用機械、工業用機械、消防機械の製造・販売
U　R　L	https://www.maruyama.co.jp/



会社概要：沿革

1895 年　新潟県高田町にて丸山商会を創業（日本で初めて消火器を製造）
1918 年　人力噴霧器の製造・販売
1935 年　動力噴霧機の製造・販売
1937 年　株式会社丸山製作所を設立
1967 年　工業用ポンプを開発
1977 年　東京証券取引所市場第一部に指定
1990 年　オリジナル２サイクルエンジン開発
（日本で最後発の2サイクルエンジンメーカー）
2000 年　新環境型２サイクルエンジンを開発
2004 年　消火剤リサイクル　eco 消火器を販売
2012 年　キャビン付ハイクリブームの開発
2016 年　マルチローター（ドローン）の開発
2017 年　ハイクリブーム3000Lタイプの開発
2022 年　東証再編に伴い、スタンダード市場へ移行
2023 年　２ストローク水素エンジン、安定運転に成功
2025 年　創業 130 周年
2026 年　丸山オリジナルバッテリー刈払機
VOLLTO　POWERSの開発


丸山式消火器


刈払機


バッテリー動噴


ブロワー


カーウォッシャー


キャビン付ハイクリブーム
（乗用管理機）


マルチローター（ドローン）

当社の事業内容



農林業用機械分野

現在、丸山グループの基幹となっている事業です。
丸山独自のポンプを使用した防除機は、変化し続ける農家の皆様のニーズに対応すべく、多種多様な製品を製造・販売しております。
また、自社製の２サイクルエンジンを使用した刈払機、チェンソーなども扱っています。

産業機械分野

現在、丸山製作所が力を入れている事業です。
高圧洗浄機や洗車機、ミスト装置などに使われる産業用の高圧ポンプの開発・製造を行っております。
また、畜舎内での病原菌の感染を防ぐ車両消毒装置など、環境衛生機器分野にも丸山製作所のポンプは活用されております。

防災関連分野

丸山製作所は日本で最初に消火器の製造・販売をした企業です。
多様化する社会の中で「環境とより安全な消火器で社会に貢献する」という理念のもと、消火薬剤のリサイクル化を進め、技術改良と製品開発により、さまざまなニーズに対応しております。

当社製品


チェンソー
マルチローター
刈払機
カーウォッシャー
高圧洗浄機
消火器
ステレオスプレーヤ
ハイクリブーム
車両消毒装置
コンベア洗浄装置

当社の主力

消火器の製造から始まり、現在ではポンプ・エンジンが当社のコアテクノロジーです。

ポンプとエンジンは製品の動力源であり、製品の心臓部となるものです。様々な分野の製品で活用されています。





ポンプ　＆　エンジン

当社の強み［製品］

当社の製品は様々な分野で高いシェアを獲得しています。







ポンプ製品の農業用防除機で
高いシェア



海外(北米)でのカーウォッシュ用
ポンプで高いシェア





エンジン製品の刈払機でホーム
センター流通において高いシェア

国内の販売・生産・サービス拠点

本　　社 東京都千代田区

生産拠点
4ヶ所
千葉県東金市（2ヶ所）
長野県須坂市
岡山県苫田郡

営業拠点
全国 24ヶ所
北海道（江別・帯広）/ 青森 / 秋田 /
山形 / 東北/ 福島 / 茨城 / 栃木/ 千葉 / 新潟 /
長野 / 山梨 / 石川/ 愛知 / 静岡 / 大阪 / 広島 /
岡山 / 香川/ 福岡 / 熊本 / 鹿児島 / 宮崎

物流拠点
3 ヶ所
福島県 / 千葉県 / 岡山県

関係会社
日本クライス株式会社
マルヤマエクセル株式会社
西部丸山株式会社
丸山物流株式会社
M-Innovations株式会社
双葉商事株式会社

千葉工場（東京ドーム 3 個分の敷地）



西部丸山（岡山）



物流拠点（福島）





海外拠点・取引先

世界80か国以上の国々との取引実績

ヨーロッパ EUROPE

アジア ASIA

中東 THE MIDDLE EAST

北米 NORTH AMERICA



丸山（上海）貿易有限公司

・中国市場向けに農林業用機械を販売

MARUYAMA U.S.,INC.

・北米を中心に農林業用機械を販売

MARUYAMA MFG INDIA PTE.LTD

・インド市場向け製品の製造・販売

MARUYAMA VIETNAM CO.,LTD.
M-INDUSTRIES VIETNAM CO.,LTD.

・ベトナムおよびアジア市場向け製品の 開発・調査・実験
・ベトナム市場向けに農林業用機械を販売
・製品/部品の製造およびポンプの組立

MARUYAMA MFG（THAILAND）CO.,LTD.
ASIAN MARUYAMA(THAILAND）CO.,LTD.

・農林業用機械の製造・販売
・東南アジア市場向けを中心に販売

MARUYAMA COLOMBIA S.A.S

・コロンビア市場向けに農林業用機械を販売

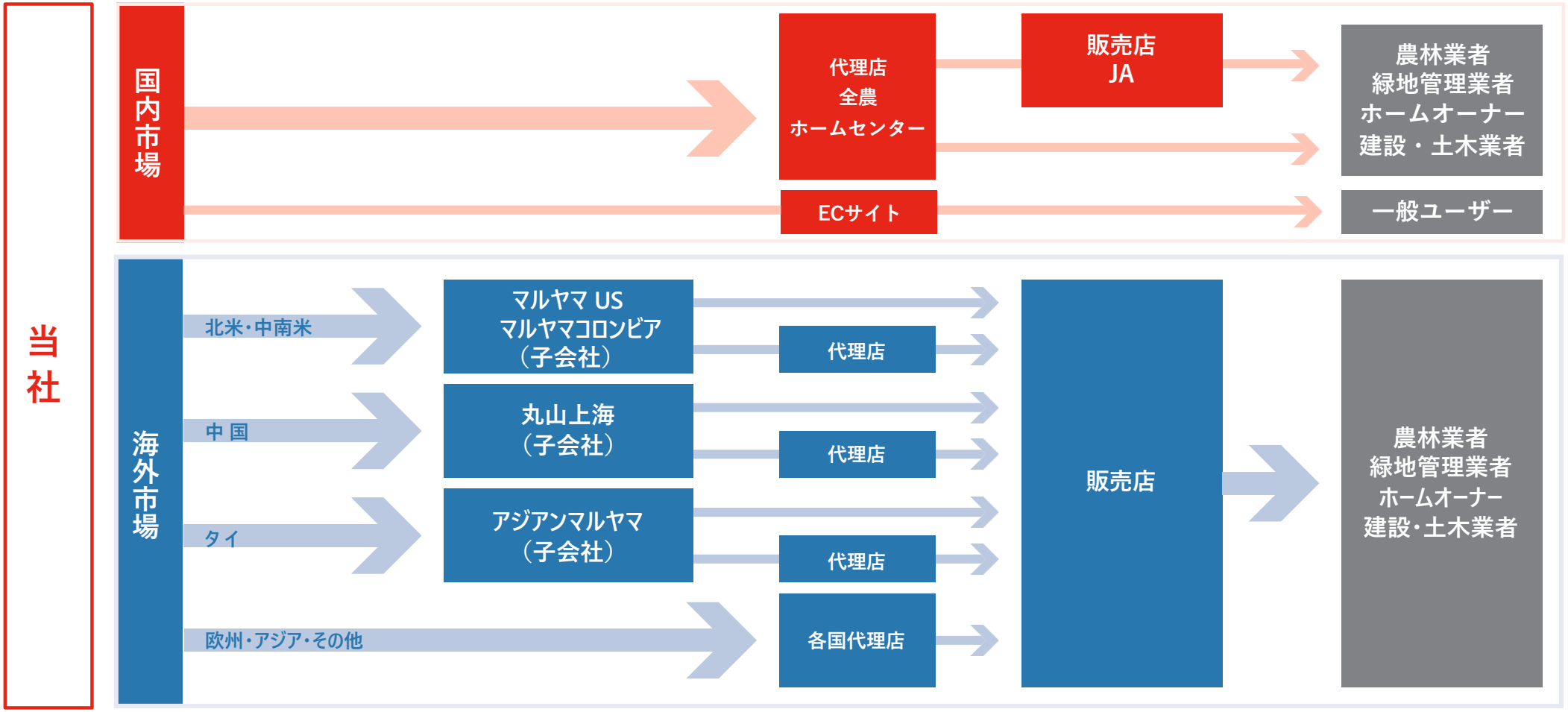
中南米 LATIN AMERICA

アフリカ AFRICA



オセアニア OCEANIA

主な販売経路


当社
国内市場
代理店
全農
ホームセンター
販売店
JA
農林業者
緑地管理業者
ホームオーナー
建設・土木業者
ECサイト
一般ユーザー
海外市場
北米・中南米
中 国
タイ
欧州・アジア・その他
マルヤマ US
マルヤマコロンビア
（子会社）
丸山上海
（子会社）
アジアンマルヤマ
（子会社）
代理店
代理店
代理店
各国代理店
販売店
農林業者
緑地管理業者
ホームオーナー
建設・土木業者

ポンプを使用した工業用製品

スパウターによる消臭作業





テーマパークで使用されるミスト



高圧洗浄機



温度管理ミスト



カーウォッシャー



災害時緊急給水 RO



ポンプを使用した農業用製品

スタジアムの抗菌 抗ウイルスコーティング





牛舎での除菌作業



【畑・ビニールハウス】

バッテリー噴霧機



【果樹園】

ステレオスプレーヤ



【田・畑】

ハイクリブーム



【中山間地】

ドローン



エンジンを使用した製品

刈払機





ブロワー



ヘッジトリマー



チェンソー



背負動力噴霧機



当社の強み［生産体制］

丸山グループは設計・製造からお客様のお手元に製品が届くまで、グループ内で一貫して行っております。

設 計



生 産





商 談



納 品



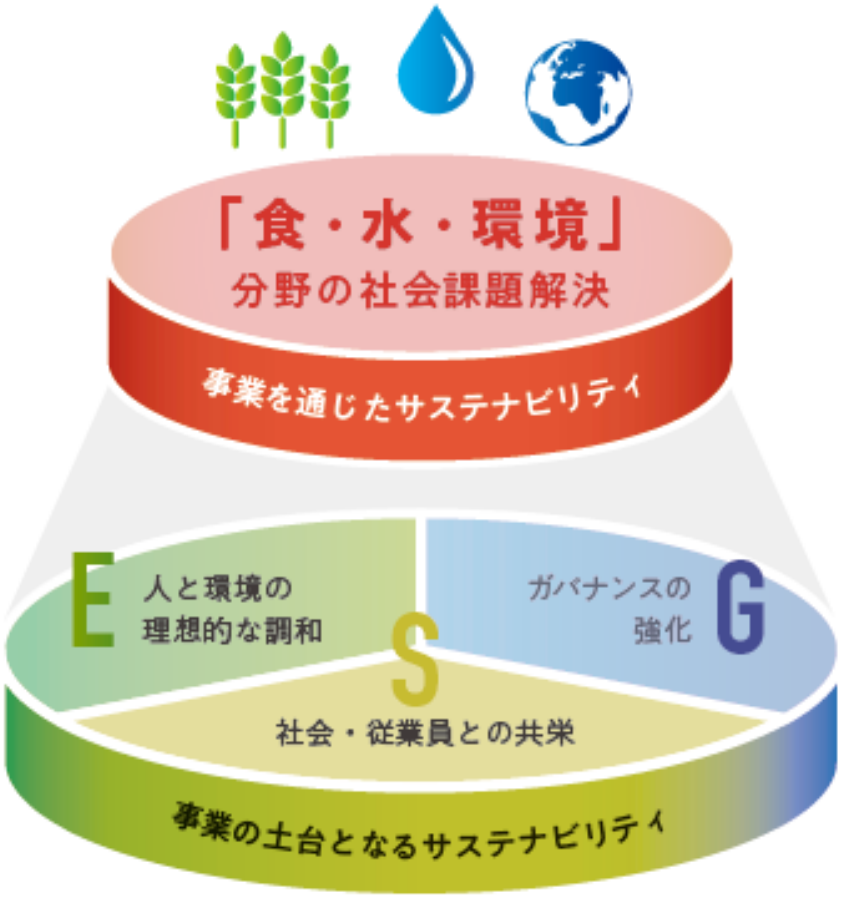
アフターサービス



MARUYAMA
次の100年を創る
-All for the Future-

サステナビリティへの取り組み

丸山製作所グループのサステナビリティ



サステナビリティ方針

丸山製作所グループは、人と地球が笑顔あふれる世界を目指して、これからも食、水、環境に関わるハード、ソフトを提供し、安心できる社会の創造に貢献します。
社是である「誠意をもって人と事に當ろう」を実践し、以下事業分野において、持続可能な社会の実現に向けて積極的に取り組んでまいります。

事業を通じたサステナビリティ

食糧、水、温暖化、ウイルス、環境といった世界的課題解決に向け、当社のコア技術であるポンプとエンジンをさらに進化させ、SDGsに繋がる事業領域を将来にわたって継続的に拡大してまいります。

事業の土台となるサステナビリティ

ESG経営の実践を通じて、企業として強固な事業の土台を構築し、事業のサステナブルな成長と発展を支えていきます。

サステナビリティへの取り組み

事業を通じたサステナビリティ

食

安心安全な[食]を世界に届けることに貢献する

➡食料の安定的な生産、農業の安全性向上に貢献し、農林業の未来を見据えた製品開発を行ってまいります

水

限りある「水資源」の保全に貢献する

➡資源を有効活用し、水を変える技術を通じて環境負荷低減に貢献してまいります

環境

「環境」と「生命」を守るとともに、カーボンニュートラルな社会の実現に貢献する

➡安全で過ごしやすい快適な生活環境の創出に貢献してまいります

事業の土台となるサステナビリティ

E

取り組みテーマ
- ●カーボンニュートラルな社会を実現する
- ●省資源化の実現と資源循環への取り組み
- ●持続可能な調達活動・グリーン調達の取り組み

G

取り組みテーマ
- ●コーポレートガバナンスの強化
- ●リスクマネジメントの強化

S

取り組みテーマ
- ●多様な人材の能力開発と働き甲斐を実現する
- ●製品の品質と安全性の向上
- ●サプライチェーンマネジメントの強化

特定したマテリアリティ　～事業を通じたサステナビリティ～

区分	マテリアリティ	活動重要テーマ	NO	KPI	2030年度目標
事業	「食・水・環境」分野の社会課題解決	安心・安全な「食」を世界に届けることに貢献する	1	世界の食糧生産増加に貢献するスマート農業製品の開発と生産	スマート農業製品の市場導入機種の拡大
			2	海外農業市場の機械化への貢献と販路拡大	海外売上高比率40%
		限りある「水資源」の保全に貢献する	3	水の力を最大限引き出すMUFB技術の開発と販売	総売上高に対するMUFB売上高割合の拡大
			4	栽培における水循環システムの構築と節水効果が期待できるポンプの開発と市場投入	水資源使用量を削減するシステムの北米と日本国内への市場投入
			5	災害時に生活用水を生成するRO装置の販売	各自治体や、災害弱者施設への導入
		「環境」と「生命」を守るとともに、カーボンニュートラルな社会を実現する	6	コア・テクノロジーを活かした環境衛生機器（洗浄・除菌・消臭）の市場投入	災害時に活用する洗浄機の市場導入機種拡大
			7	洗浄・塗装およびハウス事業の自動化技術の実用化	歩行型洗浄ロボットとハウス制御システムの市場投入
			8	温室効果ガス排出を最大限低減した内燃機関の開発	新型エンジンを搭載した製品の実用化
			9	バッテリを搭載した製品の開発と生産	バッテリ製品の市場導入機種の拡大

特定したマテリアリティ　～事業の土台となるサステナビリティ～

区分	マテリアリティ	活動重要テーマ	NO	KPI	2030年度目標
E（環境）	人と環境の理想的な調和	カーボンニュートラルな社会を実現する	10	自社内で使用する電力の再生可能エネルギーへの転換	全体電力量の90%使用
			11	自社から排出されるCO2量の削減	CO2量40%削減（Scope１）、50%削減（Scope２）
		省資源化の実現と資源循環への取り組み	12	生産活動により排出される廃棄物量の削減	生産高原単位、廃棄物量20%削減
		持続可能な調達活動・グリーン調達の取り組み	13	廃消火器の回収と、消火薬剤リサイクルの継続	自社販売消火器のリサイクル薬剤使用の継続
			14	製品の有害化学物質管理の強化	サプライヤーからの有害化学物質管理のための宣言書の取得と自社内での管理体制の構築
S（社会）	社会・従業員との共栄	多様な人材の能力開発と働き甲斐を実現する	15	成長機会の創造と人材育成	海外を含めたグループ各社経営幹部層へのサクセッションプラン拡大
			16	多様な発想や価値観を持つ人材育成のためのDE&Iの推進 ①人事制度の充実、整備 ②女性採用比率の向上 ③女性管理職の増加 ④キャリア採用の拡大 ⑤グローバル人材の確保	 ①柔軟な働き方ができる制度の確立 ②30%以上 ③7名以上 30名 ⑤30名
			17	従業員全員が健康的に働ける環境づくりの推進 ①健康経営推進 ②ホワイト500認定 ③有休取得率の向上 ④男性育休取得率の向上	 ①健康経営プロジェクトによる啓蒙活動の継続 ②ホワイト500認定取得 ③90% ④50%（2027年度）
			18	高度化するデジタル時代に対応できるDX、AI人材の育成	デジタル、AIスキルを身に付けた人材の拡大（全社員の15%）
		製品の品質と安全性の向上	19	製品安全への取り組みの充実 安全で信頼性の高い製品開発、生産	重大事故とリコール件数の削減
G（ガバナンス）	ガバナンスの強化	サプライチェーンマネジメントの強化	20	CSR調達の推進	取引先のCSRアンケート実施とフォローアップの徹底
		コーポレートガバナンスの強化	21	法令順守とガバナンスのグローバル展開	法令に関する確認統制機能の強化と海外を含むグループ内での重大な法令違反ゼロの継続
		リスクマネジメントの強化	22	災害発生時の対応力強化	各部門におけるBCP訓練実施の継続
			23	情報セキュリティの強化と個人情報の適正管理	個人情報漏洩事故発生件数ゼロの継続

TCFD宣言

TCFDへの取組方針

当社グループは、「食・水・環境」分野の社会課題解決をマテリアリティの一つとしており、世界規模で大きく影響を及ぼす気候変動への対応を重要な経営課題、大きな社会的責任として受け止めております。「誠意をもって人と事に當ろう」の社是のもと、人と環境の理想的な調和をめざして、グループ一丸となって取り組んでまいります。

指標・目標

当社グループでは、2050年のカーボンニュートラルを目指して、事業を通じた活動によるGHG排出量の削減を目標に、丸山グループ一丸となり取り組んでいきます。

項目	内容	基準	目標 2030年
GHG排出量（総量）	Scope1	2020年	40%減
	Scope2	2020年	50%減

項目	取組み
GHG排出量 削減に向けた取り組み	Scope3において、CO2削減に向けた実施フローを策定し、取引先と共有してまいります。 また、自社開発を行っている環境配慮型エンジンを製品に実装し、既存エンジンから排出されているGHG排出量を削減いたします。

［バッテリー刈払機　VOLLTO　POWERS　発売！］

このたび、使いやすさと高い作業性能を追求したバッテリー刈払機［ＢＣＢ１８０］［ＢＣＢ３６０］を発売いたしました。

両製品には、丸山オリジナルのバッテリー（１８Ｖ／４Ａｈ、３６Ｖ／４Ａｈ）を、それぞれ採用しています。
１８Ｖ使用の［ＢＣＢ１８０］は、軽量で取り回しに優れ、長時間作業時の負担軽減に貢献します。
一方、３６Ｖ仕様の［ＢＣＢ３６０］は、パワフルなモーターを搭載し、高い作業性能を発揮します。

また、身体に当たりにくいハンドル形状や見やすいバッテリー残量表示など、操作性にも配慮しています。さらにバッテリー式ならではの優れた静粛性により、住宅地や早朝の作業にも対応します。

作業者の負担軽減と作業効率向上を実現する新製品として、多くのお客様にご活用いただけることを期待しています。





［第８回国際建設・測量展ＣＳＰＩ２０２６への出展］

当社は、2026年6月17日から20日まで開催された
［第８回 国際 建設・測量展CSPI2026］へ、前年に引き続き出展いたしました。同展示会には４日間で６万人を超える来場者がありました。



当社は、展示ブースを昨年の約２倍に拡大し、建設業界の課題である省人化への対応をテーマに、ロボットアームおよび新型MUFB温水洗浄機を中心とした展示を行いました。会期中は、多くの業界関係者に当社ブースへご来場いただきました。
また、製品セミナー、学生ツアーおよびスタンプラリーへの参加を通じて、幅広い来場者に対する当社製品の認知拡大に努めました。

今回の出展を通じて、農業分野以外における当社の事業・製品を紹介するとともに、建設業界をはじめとするさまざまな業界との接点の拡大を図ることができました。

今後も、今回の出展で得られた建設業界とのつながりを活かし、産業機械分野における販売拡大に取り組んでまいります。

[R＆Dセンター建設]

当社は、現在千葉工場内にR&Dセンターを建設中であり、2027年4月運用開始を予定しております。

これまで各事業部に分かれていた開発リソースを集約することにより、中期経営計画の基本方針である「成長事業の創出」に向けた製品開発、環境に対応した技術開発、自動化による効率的な開発を行うため、R&Dセンターを新設し、新製品および新技術の市場投入を加速させます。

また環境に配慮し、魅せるR&Dセンターをコンセプトに、従業員が最大限に活躍できる環境を整えることで、創造性の創出および生産性の向上に努めてまいります。

場　　所	：	千葉県東金市小沼田 当社千葉工場内
建屋完成予定	：	2026年12月
運用開始予定	：	2027年4月

【完成予想図】



[健康経営への取り組み]

2026 健康経営優良法人 KENKO Investment for Health 大規模法人部門

当社は、従業員の健康増進と働きやすい職場環境づくりへの取り組みが評価され、健康経営優良法人に5年連続で認定されました。今後も従業員一人ひとりが健康で活躍できる職場環境の整備を推進し、持続的な企業価値向上に取り組んでまいります。

[社内運動会開催！]

社員の健康増進と社内コミュニケーションの活性化を目的として、2026年8月28日に社内運動会を開催いたしました。

当日は多くの社員が参加し、部署や世代を超えたチーム編成のもと、リレーやチーム対抗競技などを実施いたしました。競技を通じて部署の垣根を越えた交流が生まれ、社員同士の結束がより一層深まる機会となりました。

当社は今後も、社員が心身ともに健康で、いきいきと働ける職場環境づくりを推進し、組織の活性化と持続的な企業価値の向上に努めてまいります。



株主優待

株主の皆様からの日頃のご支援に感謝するとともに、当社株式に対する中長期的な投資魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。
この度、贈呈金額の一部増額、および贈呈区分の追加、優待品目の選択肢拡充を実施いたしました。

【贈呈対象・優待内容】
毎年9月30日の当社株主名簿に記載されており、100株以上の当社株式を1年以上継続保有されている株主様に対し、以下の保有期間及び保有株式数に応じて、デジタルギフト®またはQUOカードを贈呈

(継続保有期間) 1年以上3年未満	100株以上200株未満	1,000円分
	200株以上	1,500円分
(継続保有期間) 3年以上5年未満	100株以上200株未満	2,000円分
	200株以上	3,000円分
(継続保有期間) 5年以上7年未満	100株以上200株未満	4,000円分
	200株以上	5,000円分
(継続保有期間) 7年以上10年未満	100株以上200株未満	6,000円分
	200株以上	7,000円分
(継続保有期間) 10年以上	100株以上200株未満	8,000円分
	200株以上300株未満	9,000円分
	300株以上500株未満	10,000円分
	500株以上	15,000円分

注）継続保有期間の確認にあたっては、３月31日及び９月30日の株主名簿に連続して記載される同一の株主番号の回数並びに各回において100株以上の確認を基準といたします。
・１年以上３年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続３～６回記載
・３年以上５年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続７～10回記載
・５年以上７年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続11～14回記載
・７年以上10年未満：株主名簿に100株以上の保有を、連続15～20回記載
・10年以上　　：株主名簿に100株以上の保有を、連続21回以上記載
注）以下の場合株主番号が変わり、継続保有となりませんのでご注意ください。
・ 証券会社の貸株サービスを利用して貸株された場合
・ 保有株式を全て売却した後に買い戻した場合
・ 株式をお預けの証券会社を変更された場合
・ 名義変更などにより株主番号が変更された場合

※デジタルギフト®は、電子マネー・ポイント等の交換先からお好みに応じてお選びいただける優待です。
デジタルギフト®は、株式会社デジタルプラスの登録商標です。

株主優待

当社は、株主様の更なる満足度向上及び、より多くの株主様に当社の事業へのご理解を深めていただくことを目的として、株主優待制度を導入しており、楽天ECサイト内で使用できる割引クーポンを配布いたします。

【贈呈対象】
2026年9月30日の当社株主名簿に記載されており、100株以上の当社株式を保有されている株主様

ホースに取り付けるだけでウルトラファインバブル水の散水ができる			
MUFBノズル「TeQ SHOWER」	クーポン割引率	50%	
洗濯水を丸ごとウルトラファインバブル水にできる			
洗濯機アダプタ「バブリッシュ」	クーポン割引率	50%	

楽天ECサイト

クーポンは、当社の楽天ECサイト内で、対象となる株主様１名様につき１回限りお使いいただけます。
また、クーポンの有効期限は2027年２月末までとなります。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

【IRに関するお問い合わせ先】

株式会社丸山製作所
人事総務部

〒101-0047　東京都千代田区内神田3-4-15
E-mail：ir-contact@maruyama.co.jp